

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 三和建設株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																									
労働・人権	12	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則にて雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・セクハラ・パワハラについて就業規則に定めている。 ・ハラスメントに関する相談窓口を設置し、相談者を任命している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3									16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・熊本県建築協会を通じて、労働安全衛生講習会を実施している。 ・現場ごとに毎日のKY活動の実施を行っている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員)の公正な待遇を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・タイムカードで残業時間の管理徹底や、業務効率化により労働時間の短縮など働き方改革への取組みを行っている。 ・朝礼にて有給休暇などの取得奨励を呼びかけ、実施し家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。 ・就業規則にて、育児介護休暇を整備している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の醸成や部下の能力開発など、適切なマネジメントを実施できる管理職を育成するための教育を実施している。 ・資格取得の報奨金制度を創設している。				4	5.5			8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・朝礼時に交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。 ・健康診断の経費補助を行っている。 ・毎朝現場にてラジオ体操を行っている。 ・従業員の健康、感染症対策として、毎朝検温を実施している。 ・従業員の健康維持管理のため、県外へ出張後のPCR検査は会社負担で行っている。 ・熱中症対策として冷水器・製氷機等の設置を行っている。 ・ES調査を実施し、社員の声を大事にしている。			3					8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・外国人の雇用を積極的に行い、安全対策として母国語での表示を行っている。 ・現場に女性専用トイレを設置している。 ・就業規則にて、定年退職を60歳から65歳へ延長し長期雇用を促進している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・就業規則に、在宅勤務(テレワーク等)を導入するなど新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・WEB会議の実施や会議室の窓開けなどを徹底している。			3					8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICTを活用したマネジメントとマーケティングの実現に向け、業務改革に取り組んでいる。 ・データの電子化を進めている。 ・社員へ携帯やPC配付等IT投資により業務効率化を図っている。 ・ZOOMによる会社説明会、YouTubu発信を行っている。 ・経済産業省が設計するDX認定を取得し、効率化を図っている。								8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・プライト企業の認定を受けている。			3	4				8	9			12								

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・マニフェスト伝票にて有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量、走行距離表を作成し算出している。 ・太陽光パネルを設置し事務所の節電、営業車はハイブリット車、事務所についてはLEDの使用を徹底している。 ・環境に配慮した空調を使用し、節電と環境について考えている。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・環境に配慮した、低汚染、低公害型の建設重機の使用している。 ・高気密、高断熱な施設を建設し使用電力の軽減を図っている。 ・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、営業車はハイブリット車とし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動において、廃プラやレジ袋などの使用削減に取り組んでいる。 ・環境に配慮した材料やサービスの提供を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。 ・熊本県建築協会を通じて道路清掃ボランティアを実施し、緑地や水辺の整備など生物の生息・生育地の創出に取り組んでいる。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙の利用を推進している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・環境に配慮した材料やサービスの提供を通じて、生物多様性保全に取り組んでいる。 ・資源利用の削減や再生砕石等のリサイクル可能な資材を推進している。 ・コンクリートの廃材を利用している。 ・本社及び現場での資材の分別を徹底している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事務所内設備は自動節水機能付きのトイレを設置している。 ・土木工事で出る水をノチタンクを使用し排水することで環境保全に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生用紙利用、裏紙の利用を推進している。 ・省エネルギー協力製品・グリーン購入(石膏ボード・仕上げ材等)の使用推進に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・30T0運動を社員へ周知し食品ロスが出ないようにしている。 ・会社でいただいた食料品、お中元お歳暮等の食べきれないものは社員へ配り食品ロスが出ないようにしている。 ・日頃から食品ロスがでないよう、社員一人一人に周知し無駄なものは買わないようにしている。		1	2				6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・社内周辺を緑化や植栽に取り組んでいる。 ・熊本県建築協会を通じて道路清掃ボランティアを実施し、地域の緑化活動に参加している。												11.6 11.7			13.1 13.3	15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光発電や風力発電を設置し、事務所駐車場の電気に使用している。 ・工事で太陽光発電の設置を行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・自社で山を保有しており、持続可能な森林の経営・管理している。 ・公共工事で指定があれば、熊本県産材の利用を推進している。 ・植樹等の環境保全活動への取組みを行っている。						6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・営業車に一部ハイブリット車を導入している。									9.4		11.2			13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

